

## 天溪 2025 年「サンディアゴ巡礼街道 12 日間」

「サンディアゴ巡礼街道 12 日間」を 5 月 19 日～5 月 30 日に行いました。

サンディアゴ・デ・コンポステーラ はエルサレム、ローマと並ぶキリスト教の 3 大聖地。伝説などによればキリスト 12 使徒の 1 人、聖ヤコブがエルサレムで殉教した後、はるばる海を越えて現在のサンディアゴ近郊まで運ばれたそうです。その後西ゴートやイスラムなどの民族移動があったものの 9 紀に奇跡的に聖ヤコブの墓が発見され、その上に礼拝堂が建てられました。1075 年以降、ロマネスク、ゴシック、ルネサンス、バロックと時代の変遷を映す増改築がなされ今に見るサンディアゴ大聖堂に至ります。この聖地を訪れる巡礼路は多岐にわたり、巡礼路の原点「プリミティボの道」はじめ「イギリス人の道」、「銀の道」、「北の道」、「ポルトガルの道」など幾つかの街道があります。中でも欧州各地からフランスを通る巡礼路はパリ、ル・ビュイ・アン・ブレ、ベズレー、アルルの「フランス人の道」に繋がり、ピレネー山脈のエバニューエッタ峠、ソンプルト峠を越えてスペインに入り、合流して約 800Km 先のサンディアゴ大聖堂を目指します。(1998 年世界遺産) サンディアゴ巡礼街道は天溪初企画ですが 既存ツアーの「ピレネー国境横断ハイキング 11 間」はアルルの道の支線でピレネー山脈を貫くフランス・ガバルニー～スペイン・トルラ間を毎回歩いています。



(サンディアゴ大聖堂とプラテリアス広場)

### ○パラドール

スペイン各地に点在する歴史的な邸宅、修道院、貴族の館、古城などを改装した豪華ホテルのパラドールに泊まるのもスペイン旅行に花を添えます。この度は 3 ヶ所のパラドールに宿泊、2 ヶ所でランチを楽しみました。

パラドール・アビラ(☆4)：マドリードに近く、アビラの城壁に沿って建つビエドラス・アルバスの旧宮殿を改装した建物です。

パラドール・レオン(☆5)：100 近いパラドールで☆5 はこことサンディアゴ・デ・コンポステーラの 2 ヶ所のみ。16 世紀の修道院兼病院で、荘厳な宮殿を思わせる印象的な素晴らしい建物です。

パラドール・カンバードス(☆4)：大西洋が見渡せる夕日が素晴らしいロケーション。豊かな松に囲まれた豪華な邸宅で、カステージャ風に内装された骨董品で飾られています。

ランチ：2 ヶ所のパラドール内レストランでランチをいただきました。1 ヶ所は石室のパブが印象的なパラドール・ベナベンテ(☆4)、もう 1 ヶ所はサンディアゴ大聖堂の横隣のパラドール・サンディアゴ・デ・コンポステーラ(☆5)。

ガリシア地方は大西洋に面しており美味しい魚貝類をいただきました。

以下の写真はパラドール・アビラ、レオン、カンバードスやその近郊の大聖堂を写したものです。古くからの重曹な歴史を感じます。



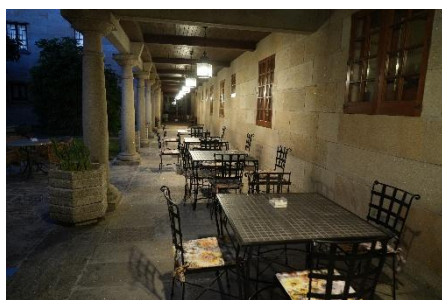
(宮殿を思わせる 5 星のパラドール・レオン)



(パラドール・アビラと大聖堂周辺)



(パラドール・レオンと大聖堂)



(パラドール・カンバーダス)

## ○サンチアゴ巡礼街道

サンディアゴに向かう巡礼路はキリスト教徒以外でも歩く事は問題なく、最初に説明した様にいくつかの街道が有ります。この度はフランス人の道の一部、サリアから残り 114Km を 5 泊 6 日かけて歩きました。簡単に言えば 1 日 20Km 前後の行程で、ここを完歩すれば巡礼証明書がいただけます。(1 日 2 カ所以上のスタンプが必要)

事前に読んだ旅行記では、フランスから 800Km を歩いた訳では有りませんが、大変だった、苦労した、等々有りましたが勞せず歩けた次第です。なお、足に豆ができれば潰れる前にカットバンを貼り、その上からテープで押さえて置きます。

決して豆をつぶしてはいけません！ 今回楽に歩けたのは全行程が晴れ時々曇りの天気。ガリシア地方は結構時雨が多い様で、この晴天は聖ヤコブ様のお陰と思います。





## ○サンディアゴ巡礼街道の行程

1日目 ホテル泊 レオンから車で約2時間移動してサリアからスタート。 サリア～ポルトマリン 21.6Km

2日目 ホテル泊 ポルトマリン～パラスディレイ 24.1Km

3日目 ホテル泊 パラスディレイ～メリデ 15.1Km

4日目 アルベルゲ泊 メリデ～アルスーア 13.6Km

5日目 アルベルゲ泊 アルスーア～ペトロウソ 19.3Km

6日目 ペトロウソ～サンディアゴ・デ・コンポステーラ 19.4Km

巡礼路は広大なブドウ畑など乾燥した丘陵を歩くと思っていましたが、この地は時雨が多く樹木が生い茂り、小川が流れる丘陵地帯でした。(ユーカリの植林も有る) 随所に有るホタテ印はサンディアゴ大聖堂のシンボルマークでこれをたどれば間違える事はないはずです。お昼は途中の小さなレストランで取りました。この地の名物は蛸、スペイン語でプルポ。この蛸、メニューでは高価な部類に入ります。しし唐のオリーブ油炒め、この地方独特のクリーミーなチーズも有名です。それにバレンシア地方の名物パエリアもありました。スペイン田舎の古い風習、はたまた代理店のサービスか分かりませんが、数件のレストランで夕食時に無料ワインがいただけたのは嬉しい限りです。でも、お酒を飲まない皆様には気遣いますネ！

※行き交う人達に出会うと日本の山は「こんにちは」、巡礼路は「ビエン・カミーノ」と挨拶します。

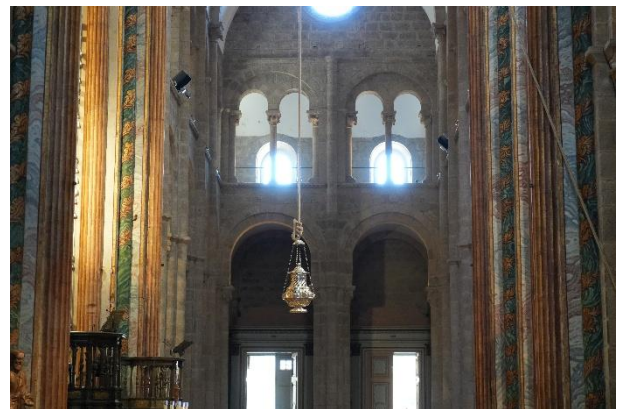


## ○サンディアゴ大聖堂

最終日は午後 2 時にサンディアゴ大聖堂に到着。皆で完歩を祝い、肩を組んで記念撮影。その後、巡礼証明書をいただき事務局へ。大聖堂の名物はお清めで炊くボタフメイロ (90kg の大香炉) のスイング。今はミサで炊かれており、希望があれば 600 ユーロ以上のお布施で特別に炊いていただける事も。そこでこの催事を申込みと、事務局から 5 月 28 日は何故か受付しないと冷たい返事。

12:15 スタートの栄光の門見学をしている最中にボタフメイロのスイングが始まりました。本来栄光の門からは幕で仕切られ大聖堂内は見られませんが係員がそっと幕をずらしてくれました。栄光の門からのボタフメイロ、本当にサプライズでした！

これも聖ヤコブ様のお計らいなんですね、きっと。



(サンディアゴ大聖堂・周辺)



(サンディアゴ大聖堂)

☆スペイン文化並びにキリスト教の無知をさらすかのように書いてしまいました。本文中に間違い、訂正箇所など有りましたら平にご容赦下さい。

(あとがき)

旅の締めはアトーチャ中央駅近くのソフィア王妃芸術センターで有名なピカソの「ゲルニカ」を鑑賞。モノトーンの色彩や描かれた人物・動物の嘆きから戦争の悲惨さが伝わりますが、絵は感性で見るとものなのではないでしょうか。すぐ近くの「プラド美術館」は「ウフィッツ美術館」「エルミタージュ美術館」などと並ぶ大美術館ですが時間が足りず入館に至りませんでした。これのみ心残りです。

天溪ツアーはこれからも続きます。

6月30日発 花のアルプスハイキング 10日間

7月 7日発 ツールドモンブラン 11日間

7月16日発 ピレネー国境横断ハイキング 11日間

一息ついて

11月14日発 アンナプルナ内院 13日間 (日程変更)

※8月末発 カナディアンロッキーとオーロラ 9日間は残念ながら催行致しません。

天溪/赤沼